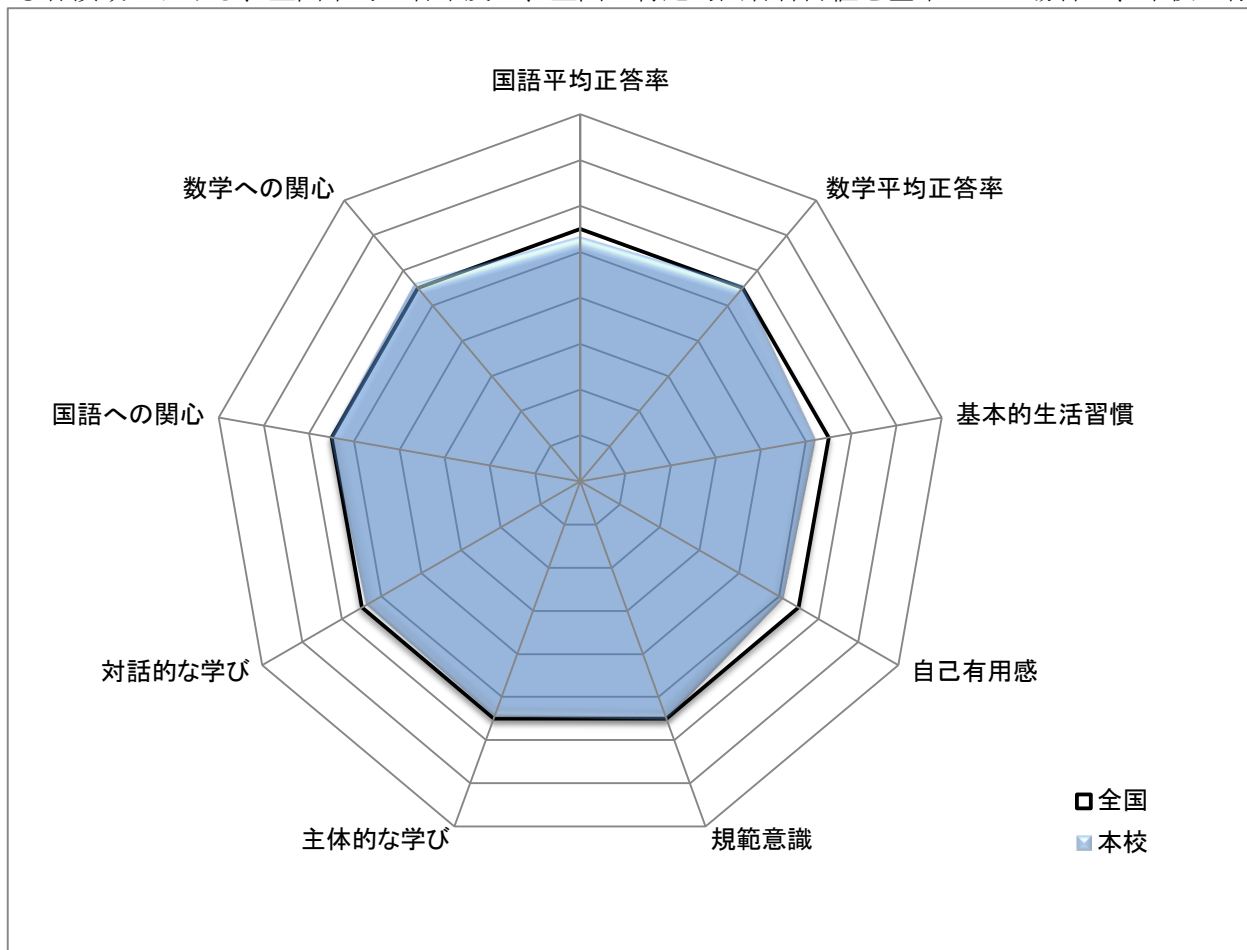


●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。《現状把握》



生徒は概ね授業に真面目に取り組めており、教科に対する関心も低くはない。よって、正答率を上げていくには、基礎・基本の定着を図りながら個々の学力も伸ばす工夫を考え、実践していく必要がある。
また、基本的な生活習慣については、家庭とも協力して改善を図っていく。自己有用感については、生徒を活躍させる場面を意図的に増やしていくことが大切である。

《授業改善のポイント》
数学・国語ともに小テストや単元テスト等で引き続き基礎・基本の定着を促しつつ、個々の学力を伸ばす工夫を考え、実践していく必要がある。
国語では、朝読書時間に実施している「よむYOMUワークシート」の取り組みも活用して、読解力を高めていきたい。
数学では、これまでと同様に、習熟度別指導の実施を続けていきたい。また、放課後補習教室・放課後受験講座の取り組みも活用して、可能な限り学力の向上に努めていきたい。

《チャートの特徴》
数学の正答率はほぼ全国平均値だったが、国語の正答率は全国平均値をやや下回った。教科への関心の項目で肯定的な回答をした生徒の割合は、数学・国語ともに全国平均並みであった。
規範意識や主体的・対話的な学びの項目で肯定的な回答をした生徒の割合は全国平均並みであったが、基本的な生活習慣・自己有用感の項目で肯定的な回答をした生徒の割合は全国平均をやや下回った。

《家庭・地域への働きかけ》
基礎・基本の定着を目指して、授業に加えて、家庭での学習も習慣化を図りたい。学校から「ドリルパーク」等のiPadを用いた学習方法を生徒に積極的に働きかけ、活用を促していく。保護者会や三者面談等の機会に広く呼びかけていきたい。